

【ご使用前に必ず一読願います】

取扱説明書

ハンドシラー

HY-ポリ用
H型・P型



初版 2017年4月1日
改訂 2017年5月1日

はじめに

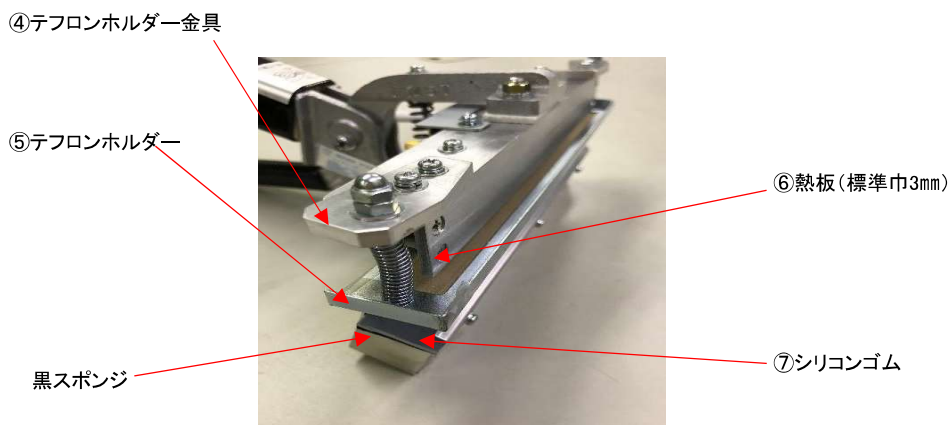
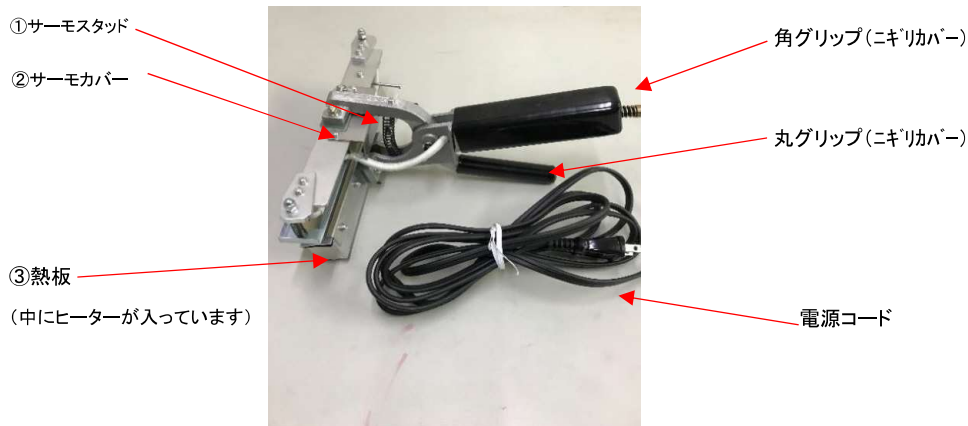
このたびは、(株)タマキのハンドシーラーをご採用下さいまして、誠に有り難うございます。
本機は、使い易さを第一に考慮されておりますが、
未長く優れた性能を充分に発揮させ維持していただくため
この説明書をよくお読みいただき、内容を正しくご理解いただいた上で
お取扱いと保守を適切に行いますようお願いいたします。

※ 高温部がありますので、火傷にはご注意願います。

目次

1. 各部名称
外観図(標準品)
A002ポリ用P型・A004ポリ用H型
2. 温度設定
3. 使用方法
4. 補修
5. 注意事項
6. 保証書

1. 各部名称

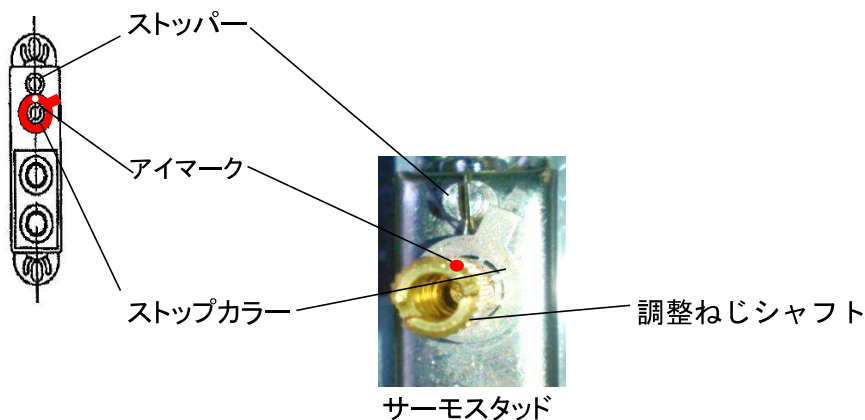


①～⑦高温になりますので火傷にはご注意ください。直接触ったりしないでください。

2. 温度設定(サーモスタッド)

プラグをAC100V電源に差し込み、6～7分後に使用して下さい。

2-1 出荷時



温度180℃附近にてヒーターがONする位置にてサーモスタットを調整致します。
その位置が確認出来る様、ストップカラーのストッパー位置にアイマークを入れます。

※適温は材質・厚みにより違います。

2-2 調整

- ① 圧接温度を変更する時(材質厚みにより)
- ② 圧接が正常に行えない時(温度低下・温度上昇)

上記の場合、下記の方法にて調整して下さい。



※調整ねじ(シャフト)をマイナスドライバーで回して行います。
注意事項①熱板の温度を確認しながら行ってください。

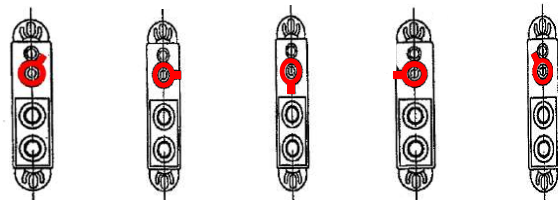
②熱板の温度が長時間190℃以上を超えない様にして下さい。

③温度を上げ過ぎるとグリップを握れなくなり、丸グリップが溶ける場合があります。

③ 調整範囲

ストップカラー ストップカラー ストップカラー ストップカラー ストップカラー

0° 位置 90° 位置 180° 位置 270° 位置 360° 位置



※温度精度±8.3℃

設定温度(下記設定目安です。熱板部が190℃以上には上げないで下さい。)

	参考値	参考値	参考値	参考値	参考値
ON位置	157℃	194℃	240℃	287℃	325℃
OFF位置	163℃	201℃	246℃	295℃	333℃



※サーモスタッド定格にて温度が最大330℃程度上がりますので
調整は、熱板温度が長時間190℃以上にならない様にして下さい。

3. 使用方法

AC100V電源投入後6～7分にて180℃前後になりますので使用を開始して下さい。

※ 定格電圧 AC100V 定格消費電力300W 接着部使用温度:180℃

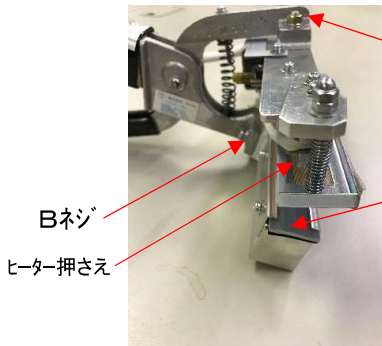


**ニギリグリップがとても熱くなりますので
シールの際には充分注意して下さい。
安全の為、手袋での使用を推奨いたします。**

ニギリグリップ以外高温注意

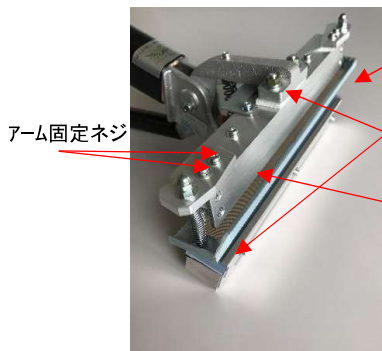
4. 補修

床に強く押し付けたりしますと、熱板がずれて上下熱板のかみ合わせが悪くなり、均一なシールが出来ません。



◎左右どちらか隙間がある場合
Bネジを少しゆるめ下熱板をずらして下さい。

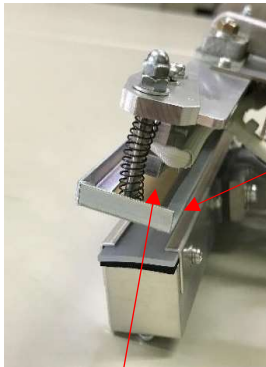
◎ヒーター押さえの左右ズレがある場合
Aネジを少しゆるめ、ゴム台の中心に合わせて下さい。



◎テフロンホルダーが左右ズレている場合
アーム固定ネジをゆるめ調整して下さい。

5. 注意事項

- ①シール後すぐにシートを剥がさず、テフロンホルダーにシートがついた状態で2～3秒冷却します。
厚手フィルムの場合4～5秒



テフロンホルダー

シール後、シートを直ぐにはがそうとしますとテフロンが引っ張られ
はがれてしまいます。

テフロン(薄茶)

- ②コードを引っ張らず**必ず**プラグを持って引き抜いて下さい。(修理の原因の多くは断線です。)
- ③ハンドシーラー使用時、ニギリ以外は**高温**となりますので火傷等にご注意下さい。
また、高温部に電源コード等接触しますと溶けますのでご注意ください。
- ④ハンドシーラーの修理も承っておりますので、ご依頼下さい。